湖西市議会議員

くすのき浩幸（ひろゆき）

活動レポート

vol.62

令和８年10月



みんなの笑顔が輝く湖西市を目指します



湖西市議会
YouTube

【はじめに】 秋涼の候、皆さまにはますますご清祥のこととお慶び申し上げます。湖西市議会９月定例会（令和８年９月１日～10月１日）では、令和７年度決算審査をはじめ、条例改正や補正予算などが審議されました。決算の詳細については裏面「令和７年度決算報告」でお伝えいたします。
今議会の一般質問では、「学習面や生活面に困難さのある児童生徒への切れ目ない支援について」をテーマに取り上げました。昨年12月の一般質問（不登校児童生徒への校内支援体制について）からさらに一歩踏み込み、困難さの早期把握から進級・進学後まで、支援がどのように組み合わされ、つながっているかを問いました。

1 教育を基本とした魅力あるまちづくり

2 行財政改革と持続可能なまちづくり

3 働く仲間の声でつくるまちづくり

一般質問　学習面や生活面に困難さのある児童生徒への切れ目ない支援について

背　景 本市では不登校児童生徒数が増加傾向にあり、学習面・生活面・対人関係・発達上の特性などに困難さのある児童生徒への支援が重要な教育課題となっています。教育委員会・県教育委員会へのヒアリングや市内小中学校の視察を通じ、通級指導教室の設置校が限られていることによる送迎負担や、支援機会が学校によって異なること、困難さを把握した後の支援の組み合わせ・継続方法に課題があることが見えてきました。

私の想い 不登校という状態になってから支援するのではなく、その手前の段階で学習面や生活面の困難さを早期に把握し、必要な支援を進級・進学後まで切れ目なくつなぐ仕組みが重要だと考えています。湖西市には通常の学級、通級指導、スクールカウンセラー、校内教育支援センターなど、すでに多くの支援があります。大切なのは新しい制度をつくることではなく、それらを子供の教育的ニーズに応じて組み合わせ、教育委員会や市長部局も含めた行政全体で支え続けることだと考えています。

調査・視察 通級指導教室を２回視察し、保護者の声を伺うとともに、県教育委員会へのヒアリングで県内自治体の設置状況を調査しました。





【主な質問と答弁】

問１ 支援体制の全体像について
困難さのある児童生徒への支援は、誰が中心となって組み合わせ・調整しているのか。

回答 学級担任が日々の観察で気づき、コーディネーターや生徒指導主事が校内会議で情報を集約。案件に応じ主任またはコーディネーターが中心に検討する。

問２ 通級指導の実施状況と地域格差について
通級指導教室の利用は61人、うち26人が他校通級。在籍校によって支援の受けやすさに差があるのでは。

回答 送迎負担等で機会に差が出ないよう配慮が必要と認識。自校通級の拡充や巡回指導、サテライト教室の活用を検討するとともに、来年度に向け県へ教員増員を要望していく考えを示した。

問３ 中学校への通級指導教室の設置について
中学校には通級指導教室が１校もない。近隣自治体と比べて遅れているのではないか。

回答 指導者の育成が課題だったと述べ、事実上の遅れを認める形に。中学校への設置は必要性を認識しつつも、今後の検討課題にとどまる答弁だった。

所　感 今回の一般質問を通じ、教育委員会の姿勢には依然として課題があると感じました。不登校支援や学びの多様化には、根拠に基づく検証（EBPM）と実行計画の明確化が欠かせませんが、KPIを示さない方針や慎重すぎる答弁が続き、前向きな改善への意欲は十分とは言えませんでした。しかし、子どもたちが安心して自分のペースで学べる環境を整えることは行政の責務です。支援の質を見える化し、多層的な支援と多様な学びを選べる体制づくりを進めるため、今後も粘り強く提案と改善を求めていく必要があります。

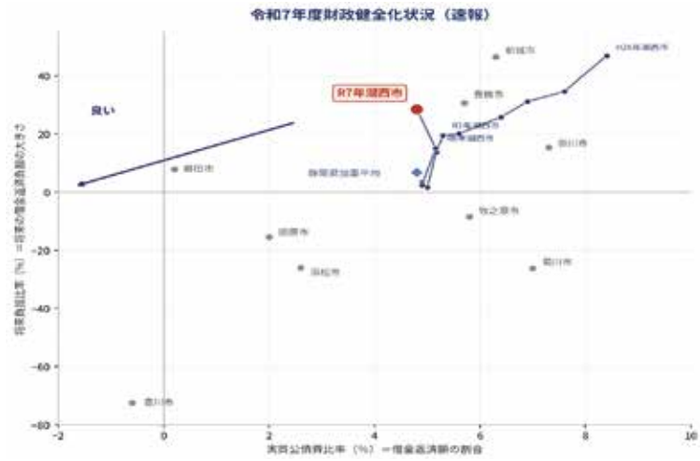
令和７年度　決算報告

湖西市財政指標（健全化判断比率）について

◆ 指標の推移

令和７年度決算の実質公債費比率は 4.8%、将来負担比率は 28.5%となりました（前年度：実質公債費比率 5.96%／将来負担比率 15.1%）。
消防防災センター建設や鷲津中学校長寿命化工事など大型投資により市債発行額が前年度比 75.9%増加し、将来負担比率が大幅に上昇しています。

出典：静岡県「令和 7 年度決算速報」(2026 年 9 月 29 日更新)、愛知県「市町村等の健全化判断比率及び資金不足比率の概要（2025 年度決算)」。湖西市の実質公債費比率 4.8%は庁内確定値、将来負担比率 28.5%は県速報値と一致。浜松市・豊川市・田原市・菊川市・牧之原市の将来負担比率は、速報値では黒字のため非公表とされていますが、各市財政課へ直接確認した実数（マイナス値）を掲載しています。



令和７年度　総決算の概要

一般会計及び特別会計を合わせた令和 7 年度決算額は、歳入 419 億 1,629 万 9 千円、歳出 393 億 4,994 万円で、前年度比で歳入は 7.5%増、歳出は 6.7%増となりました。単年度収支は 3 億 8,949 万 3 千円の黒字でしたが、実質単年度収支は２億 5,893万8千円の赤字となり、財政調整基金を2億1,816 万１千円取り崩しています（年度末残高 26 億417 万円）。

所 感

令和７年度は消防防災センター建設工事や鷲津中学校長寿命化工事など大型投資が本格化し、市債発行額は前年度比 75.9%増、市債残高も 9.7%増加しました。
財政調整基金の取崩しは前年度（6億 9,515 万円）より圧縮されたものの、将来負担比率は 15.1%から 28.5%へと大きく上昇しています。
財政力指数は 1.0 を上回り財政基盤は比較的安定していますが、人口減少・少子高齢化が進む中、大型投資の本格化が将来世代の負担に直結する局面に入っています。公共施設更新計画や基金残高の確保について、引き続き注視してまいります。

出典：「令和 7 年度湖西市各種会計歳入歳出決算及び基金運用状況審査意見書」（湖西市監査委員、令和 8 年 8 月 14 日）



9月定例会のトピックス

アメニティプラザ空調修繕の債務負担行為 4.6 億円を修正　議会が進め方の再検討を求める

アメニティプラザ空調修繕の債務負担行為（4 億 6,184 万円）について、内訳や仕様の説明が不十分だとして、議会は議案第 78 号を修正し、当該事項を削除しました。修繕の必要性は認めたうえで、進め方の再検討を求めたものです。これを受けて市は10月1日、吊り天井の補強やサブアリーナへの空調設置を含む全体計画を示しました。今後は、総事業費と財源、スケジュールの説明が課題です。

【アマモ部活動】浜名湖の藻場再生へ デンソー労組湖西地区有志が種濾し作業



10月3日、デンソー労働組合湖西地区有志が浜名湖のアマモ増殖活動を実施しました。今回は「種濾し」作業として、6月に採取し海中で熟成させた花枝を引き上げ、付着したヘドロなど異物を丁寧に取り除いてアマモの種を選別。取り出した種は冷蔵保管し、 11月の種まきに備えます。
地道な作業の積み重ねが、浜名湖の豊かな海の再生につながっています。

くすのき浩幸 くらしの相談室　連絡先

＜デンソー労働組合湖西地区 くらしの相談室＞

〒431-0493 静岡県湖西市梅田３９０番地
TEL.０５０-１８０３-８１５１
FAX.０５３-５５５-７１３３

hiroyuki.kusunoki.j4s@denso-wu.jp
hirokusunoki23@gmail.com
ホームページ　http://kusunoki-h.com

ホームページ

SUSTAINABLE DEVELOPMENT GOALS

発行 / 2026 年 10 月 15 日　発行所 / くすのき浩幸 後援会　編集 / 楠 浩幸　印刷所 / marico DESIGN